

## 国際障害者デー（12/3）、障害者週間（12/3-9）にあわせて 南アフリカ共和国の障害者支援行政職員 沖縄で「結い」の心を学ぶ

国際協力機構 沖縄国際センター（JICA 沖縄）は11月26日から12月9日まで、南アフリカ共和国の障害者や障害に係る行政官らが、障害者の社会参加・雇用促進が進んでいる沖縄にて、障害者自助グループ活動、自立生活支援・生計向上、アドボカシー活動、バリアフリー化などについて、行政や地域、民間団体による障害者支援体制や地域リソースの活用などを学ぶ研修「地域に根差したインクルーシブ開発による障害者の自助グループ設立と強化研修」を実施しています。

沖縄県における障害者福祉制度の学びや自立・就労支援組織への訪問・意見交換、首里城や美ら海水族館、ゆいレールなど公共施設のバリアフリー体験などを通じて得た研修の成果と帰国後のアクションプランを12月9日（金）にJICA 沖縄にて発表します。

JICA では2016年から同国にて「障害者のエンパワメントと障害主流化促進プロジェクト」を実施しており、今回の来日はプロジェクト活動の一環として、沖縄で研修を行うものです。この研修コースの運営に係る（特活）エンパワメント沖縄からは、本年7月に高嶺 豊（たかみね ゆたか）理事長が同プロジェクトの短期専門家として、2週間現地で活動し、今回の沖縄での研修をデザインしました（高嶺豊氏は、沖縄県障害を理由とする差別解消に関する調整委員会の委員長です。）。

また、この研修には、同プロジェクトの鷺谷大輔（さぎや だいすけ）専門家（チーフアドバイザー）も同行し、沖縄での学びをプロジェクトの実践を活かすに計画づくりに加わります。鷺谷専門家はこれまで、カンボジア、フィリピン、ルワンダなどで障害者や障害を持つ除隊兵士の社会参加・復帰のための職業訓練のプロジェクトに従事しています。

### アクションプラン発表会

- ▼日時：2017年12月8日（金）09：30～12：00
- ▼場所：JICA 沖縄（沖縄県浦添市字前田 1143-1）
- ▼南アフリカ共和国 研修員（18名）  
社会開発省職員、地方自治体職員、障害者協会職員 15名および研修員（車イス等利用者）の介助者として同国から同行者3名。
- ▼参加者  
（特活）エンパワメント沖縄 理事長 高嶺 豊  
JICA 南アフリカ共和国派遣 専門家 鷺谷大輔



#### 【本件に関する問い合わせ先】

個別インタビューも調整可能です（日本語＝英語の通訳もアレンジ可）

JICA 沖縄 研修業務課 安元 孝史

TEL：098-876-6009 E-mail：[Yasumoto.Takafumi@jica.go.jp](mailto:Yasumoto.Takafumi@jica.go.jp)